

生活科の実践

札幌市

生活科

2年

おもちゃを作って遊びを充実させよう

めざせおもちゃ作りマスター

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

内容の(2)(5)(6)(9)に関連した学習です。冬が近づき雪が降るようになると、北海道ではグラウンドが使えなくなります。そこで休み時間を楽しく過ごせるように、牛乳パック、割り箸、輪ゴムを材料に、思い思いのおもちゃを作り出しました。修行をクリアすることで、おもちゃ作りマスターを目指します。

学習活動の流れ (13 時間)

グラウンドが使えないということから、自分たちで工夫して遊べるおもちゃを作っていこうという思いをもたせました。

限定された素材を生かして、わりばしでっぽうやおみくじを作っていました。

パッチンガエルや発射台、的当てなどを作っていました。

生活科の授業時間以外で遊ぶ子が多数出てきて、学校生活に学習を生かすことができました。

めざせ！おもちゃづくりマスター (1)

- ・グラウンドが使えなくてもたくさん遊びたいな

しゅぎょう その1 素材限定 (4)

- ・ゴムと牛乳パックでつくろう
- ・わりばしでおもちゃをつくろう！

しゅぎょう その2 動き限定 (4)

- ・とぶ動きのおもちゃをつくろう！

しゅぎょう その3 工夫しよう (4)

- ・みんなで遊べるようにしよう！
- ・これまでのおもちゃを組み合わせさせてあそぼう

子どもたちは、遊ぶのが大好きです。でも現代の子どもたちは、遊びを創り出す経験が、ほんの少し不足しているようです。

みんなで考え、工夫して遊ぶことが子どもたちの生活を豊かにします。



うごくかな

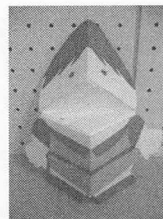
教材・活動の Point!

1. 素材を限定

本単元の初めには、ゴム、牛乳パック、わりばしという身近な素材に限定しておもちゃを作りました。おみくじ、わりばしでつぼう、飛行機を作る子がいました。タワーを作ってそれを的にして、わりばしでつぼう大会を友達に呼びかける子もいて、遊びを楽しむ活動ができました。

2. 動きの限定・そしてみんなで遊ぶ工夫

素材限定の後には、動きを限定したおもちゃ作りです。素材限定のステップで扱ったゴムやわりばし、牛乳パックが大いに役立ちました。最後にみんなで遊ぶ工夫をさせました。みんなで休み時間を楽しむために、ルールを決め点数をつけたり競争したりするように改良されました。



3. 限定されたことから広げていく



限定された素材でも、いろいろなおもちゃができることを実感し楽しさが広がりました。素材が限定されているからこそ、発想は広がっていきます。何を使っておもちゃを作るかをはっきりさせることで、どんな物を作ろうかと集中して考えることができるのです。